

解答例 および 点数配分例

問1 図を参照しながら次の各問いに答えなさい。

1) 京都府内における公共交通機関の利用時間が1日当たり90分である人の利用頻度はどこまで減少させなければならないか。整数で答えよ。

(18) 分/日 $90 \text{ 分/日} \times 20\% = 18$ 10点

2) 東京都内における公共交通機関の利用時間が1日当たり90分である人の利用頻度は、その後の感染拡大を抑制するために最大限見積もってどこまで減少させなければならないか。小数第2位を切り捨てて小数第1位まで求めなさい。

(2.2) 分/日 $90 \text{ 分/日} \times 2.5\% = 2.25 \rightarrow 2.2$ 10点

3) 仮に東京都で公共交通機関の利用時間が1日当たり90分である人が、せめて1日当たり50分までは利用できるようにする場合には減少目標値qが何%であれば良いか。小数第2位を切り捨てて小数第1位まで求めなさい。

(55.5) % $50 \text{ 分/日} \div 90 \text{ 分/日} = 0.555555\cdots \rightarrow 55.5\%$ 10点

4) 北海道で生活をする人が2020年5月10日時点で、1週間当たり50人と「3つの密」(飛沫の届く距離で密接する、屋内の風通しの悪い密室内、人々が密集し同時に会話をする)の中で、会議や打ち合わせ、商談や談笑などの直接接触行動を行っているとする。この時点から感染拡大を抑えるには、1週間当たりに何人とまでなら同様な接触を行うことができるか。小数第1位まで求めなさい。

(5.5) 人/週 $50 \text{ 人/週} \times 11\% = 5.5 \text{ 人/週}$ 10点

5) 同様に東京都内で生活をする人が2020年4月6日時点で、1週間当たり50人と仕事上の打ち合わせでヒトとの直接接触行動を行っているとする、1週間当たりに何人とまでなら同様な打ち合わせを行うことができるか。小数第2位を切り捨てて小数第1位まで求めなさい。

(1.2) 人/週 $50 \text{ 人/週} \times 2.5\% = 1.25 \rightarrow 1.2 \text{ 人/週}$ 10点

問2 今後もしばらく新型コロナウイルスの完全な収束はないと仮定すると、我々にはどのような社会的距離戦略(social distancing)が必要と考えられるか。その理由とともにあなたの考えを述べなさい。なお、解答は400字以内にまとめなさい。 50点

5点：3つの密に関係したことが1つ以上書かれている。

10点：例として「協力」、「経済活動」、「共生 (with コロナ)」、「行動変容」などの言葉や内容が1つ以上書かれている。

10点：上記それぞれについて、その理由が書かれている。

10点：文章内容の辻褄があっている。

10点：文章の体裁が整っている。

5点：文字数が360文字以上書かれている。

-3点：誤字・脱字、不明な文字(1ヶ所につき)

-5~-25点：倫理に反している。